

第4回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日時	平成20年10月7日（火）午前9時～午前12時00分
場所	市役所4階 庁議室
出席者	佐藤委員長、貴志委員、鈴木委員、鶴岡委員 小川総務部長、高橋企画部長、大坪健康福祉部長
議題	日野市立栄町高齢者在宅サービスセンター外 4 施設応募事業者によるプレゼンテーション 委員長より開会のあいさつ 1. 本日の流れ及び審査手順の説明 2. 施設概要説明、採点表の説明 3. 審査1（栄町高齢者在宅サービスセンター：社会福祉法人日野市福祉事業団） 4. 審査2（日野市立やまばと：社会福祉法人日野市福祉事業団） 5. 審査3（日野市立つばさ：社会福祉法人日野市福祉事業団） 6. 審査4（日野市立はくちょう：社会福祉法人日野市福祉事業団） 7. 審査5（日野市立やまばと：社会福祉法人日野市福祉事業団） 8. 採点
議題 1	● 施設概要説明、採点表の説明
議題 2	高齢福祉課長より説明（施設の概要、採点表）
議題 3	● 審査1（栄町高齢者在宅サービスセンター：社会福祉法人日野市福祉事業団） 事業計画書に基づくプレゼンテーション ＝主な質疑＝ （質問）利用率が60％と低いですが、増やすための方策を具体的に教えて欲しい。 （回答）事業団で居宅介護支援事業所を運営していないので、利用者の状況をケアマネにまめに報告する等によりケアマネとの個人的な信頼関係を築いて新規利用者をまわしてもらえるよう努力している。しかし、ほとんどの居宅介護支援事業者には系列の通所介護施設があり、現実的には回していただくのは難しい。現在、栄町高齢者在宅サービスセンターに利用登録している方が50人いらっしゃるのので個々に働きかけるようにしている。 （質問）原則的には50人の方が対象枠になるのか。 （回答）定員は30人ですが、そういうことになる。登録されている方は他の施設も利用しているので、なるべく栄町を利用してくれるよう声かけをしている。 （質問）市全体で見た場合、需要はカバーできているのか。需給バランスはとれ

	ているのか。パイの取り合いをするのか。 (回答) 介護保険の認定基準が厳しくなっている。現在、栄町を利用している方は限度額いっぱいになっている。限度額をこえて、全額個人負担してまでというのは難しい。新しい利用者を増やす必要があるが、デイだけではなくショートステイとの併用を希望する方が多く、職員との信頼関係の面でも通所介護とショートステイ両方を実施している施設を利用しがち。ショートステイを実施していない栄町は新たな人を開拓するという面でもそういったハンデがある。 (質問) なぜショートステイがなくなったのか。また、独立系のケアマネとタイアップしてこちらに招くとか、地域包括支援センターとの連携は？栄町高齢者在宅サービスセンターは予防の機能があるのに60%の利用率でとどまっているのはなぜなのか。 (回答) ショートステイは、市の方針で「グループリビング」を導入したため廃止となった。地域包括との連携については、必ず連絡し、利用者を入れてくれるようお願いはしているが、民間事業所もたくさんあり、なかなかまわしていただけないのが現実。浅川苑はショートステイを実施していたが、それでも予定している希望者が集められないという状況はあった。トータルとして今待機しなければいけない利用者はそうはいないと思う。 (質問) サービスセンターの職員定数はあるのか。また、送迎の委託により利用者の範囲が狭められたようなことはあるか。 (回答) 職員定数は、施設の利用者の規模により介護保険法の中で決められている。送迎の委託については利用者に不利益を与えないことを前提に削減している。実際動いているのは朝と晩のみであるため、車両を自前で用意して、一日8時間張り付くのではなく、必要な時間のみシルバー人材センターから派遣してもらうことにより経費削減を図った。 (質問) 昔、介護保険法施行前に家族を介護していたとき栄町サービスセンターにはお世話になった。お風呂やショートステイは介護者にとって大変助かった。ショートステイの利用から家族との信頼関係が築かれるのに廃止されたのは残念。浅川苑がなくなったのであれば、栄町サービスセンターで事業団としての特色を出して欲しい。「家族」のケア(家族の相談)を特色にして良いのでは。これは希望です。 (質問) 「布団の消毒」というのがありますが、ショートステイ等がないのであれば、これは何ですか。 (回答) デイサービス事業で使用している布団です。
--	---

議題 4	(質問) 経費削減で「職員給与」を大幅に減らしているがいかがなものか。送迎費やパソコンのリース代など、まだ減らせるのではないか。また、週 5 日 40 時間勤務の人を臨時職員にしているが、労基法で長期には雇用できないのではないか。 (回答) サービスセンターの場合、人手がすべて人件費となります。その勤務形態をすべて正規の職員で行うとしたら、この予算では無理です。また、今までの方針として、退職した職員のあとを臨時職員にしてきたという部分がありますので、それについて検討する必要はあるかと思います。その他、高齢者施設と障害者施設を合わせて給食をセンター化することにより調理員を削減できたが、事業形態を変えることによりトータルで削減している。パソコンリース関係は、このあとの障害者関連施設のところでお話しますが、個人情報保護の観点から最低限の範囲ですので、これ以上の削減は難しいです。 (質問) 栄町の直近の介護報酬はどのくらいですか。 (回答) 平成 19 年度は利用者負担を含めて 5140 万円位です。 ● 審査 2 (やまばと：社会福祉法人日野市福祉事業団) ＝主な質疑＝ (質問) 前回 65 歳以上の利用者について介護保険利用への移行を提言した。平均年齢が低下しているので驚いている。知的障害者についてはひばりの利用者が移行してきているのか。 (回答) 介護保険利用対象者は介護保険のサービスを利用するよう勧め辞めていただいた。また、ひばりの利用者の利用も増加している。 (質問) 介護保険のサービスへの移行について問題はなかったのか。 (回答) 収入の減となった。利用者との問題がなかった。 (質問) 知的障害者の受け入れにより指導員の対応が困難になったのではないですか。言語訓練、理学訓練の人員配置は臨時職員ですか。 (回答) つばさに配置されている職員で対応している。 (質問) 収支計画書より、3 年目 (23 年度) の人件費が削減されている。主な理由は何ですか。 (回答) 給与改革が中心となります。市の行財政改革の中でも課題となっています。職員給与について、民間の施設職員だと 4 5 0 万円、事業団職員の場合は、市に準じた形になっている。民間との比較、事業内容によって見直す必要があると考えている。給与改革を行い削減します。 (質問) 緊急時の対応についてどのようにしています。 ノロウイルスの対策はどうしましたか。感染症対策や食事についての対
-------------	--

議題 5	応もどうしていますか。 研修について、どのような内容の研修を受けていますか。また、頻度はどうですか。具体的にお話ください。 (回答) 保健所と相談して対策マニュアルを作成しました。手洗いの励行等を実践しています。食事について、やまばとの場合は、利用者の状況により食事の提供を行っています。 ● 審査3 (つばさ：社会福祉法人日野市福祉事業団) 事業計画書に基づくプレゼンテーション =主な質疑= (質問) 就労継続支援B型事業が旧ひばり学級ということですか。 (回答) 旧ひばりは、障害者自立支援法に基づく新体系のうち就労移行支援事業と就労継続B型事業に移行しました。 (質問) 就労移行支援事業の利用者は定員6名に対し現在の在籍は1名ということですか。 (回答) そのとおりです。平成19年度は2名の利用者が在籍していた。そのうちの1名が一般就職することができた。 利用者が定員に満ちるよう今後努力したい。 (質問) 自立訓練事業の利用者の平均年齢はいくつですか (回答) 平均年齢は48歳です。 (質問) 職員数、各事業の利用者数は何人ですか。 (回答) 自立支援事業の利用者は6名、就労移行支援事業の利用者1名、就労継続支援B型事業の利用者30名です。 職員数は自立訓練事業について3名 施設長1名やまばとと兼務、看護師1名、支援員1名 その他臨時職員として理学療法士、作業療法士が各1名です。 (質問) 事業ごとに人員配置がありますが兼務している人がいますね。つばさに実質何人の職員がいるのか知りたいです。 (質問) 職員数は事業ごとの人員を足し算できないのでしょうか。 (質問) 採点表に項目があるので、はっきりしないと評価できない。 (回答) つばさの支援員として、正職員5名、臨時職員4名 やまばとの支援員として、正職員1名、臨時職員2名 両施設の施設長として1名を配置している。 (質問) いじめについて、施設が行うアンケートには出てこないが、第三者機関が行うとかなりあがってくるがどのように考えますか。 (回答) 意見を出しやすい状況を作っています。事業団の中で解決できるものは、
-------------	--

議題 6	それ以外はオンブズ等を利用している。また、利用者との意見交換会を密に行っている。 (質問) 予算書のうち教育指導費とは何に使うのか。 施設長の給与等は、つばさとやまばとと予算から按分して出すのですか。 (回答) 教育指導費は、利用者の活動に必要な経費 たとえば陶芸等の原材料費、各種行事の際の教育娯楽費、外に講師謝礼等に支出しています。 施設長給与についてはつばさの予算から支出しています。 (質問) 旧身体障害者B型センター事業は1階、旧ひばりの事業は2階で実施しているということですか。 (回答) そうです。 ● 審査4（はくちょう：社会福祉法人日野市福祉事業団）事業計画書に基づくプレゼンテーション =主な質疑= (質問) 日常的な安全管理はどのようにしていますか。 (回答) 火災関係の安全管理について、点検担当職員が巡回し、火の元などの点検を行う。日常的に危険な箇所について利用者にとって危険の及ばないように整理整頓している。 (質問) 利用者の安全という面で行っていることはありますか (回答) 利用者の多くが重度の知的障害者なので、職員の目の届かないような状況を作らないようにしています。また、自動ドアを手動にするなどして急な飛び出しが無いように配慮しています。 (質問) マニュアルなどがありますか。 (回答) 職員会議で徹底しています。 (質問) 職員会議は毎日ありますか。 (回答) 朝礼をしています。 (質問) 3名の欠員について、通所できない理由は何ですか。 (回答) 体調不良、家庭の都合です。自ら不調を訴えられないので病気が長期化しています。 (質問) 利用者の親が高齢化しているため施設に入ることもあると思います。その場合、はくちょうが入所施設を探すのですか。相談がありますか。 (回答) 基本的には、親が中心となって捜します。相談がある場合には対応します。市とはくちょうと家族とで話しながら対応します。 (質問) 数年の利用者の入所、退所の状況についてどうなっていますか。 (回答) 平成17年度は20名在籍していました。平成18年度当初、家庭の都合2名、高齢のため介護施設へ1名、計3名が退所しました。平成19
-------------	---

	年度当初、本人の体調・精神面の不良により1名が退所しました。 (質問) 待機しているということはあるですか 要員配置計画書の記載事項について5人が雇用予定となっていますがどういふことでしょうか。 (質問) 重度の施設の必要性は (回答) 年度によって必要な職員数が変わる。今年度、利用者が2名増え、障害の程度区分等も変わり、臨時職員を配置する予定だったためこのような記載になった。現在は雇用済みです。また、再来年以降、重度の方の利用が増える見通しです。 (質問) 年齢の上限はありますか。 (回答) 介護保険との関係で65歳を上限としています。ただし、介護保険で同種のサービスを受けることができない場合は受け入れることも考えている。 (質問) 障害者自立支援法の報酬による収入はいくらですか。 (回答) 平成19年度決算で2500万円位です。
議題 7	● 審査5 (希望の家：社会福祉法人日野市福祉事業団) 事業計画に基づくプレゼンテーション =主な質疑= (質問) 収支計画書の修繕費について、50万は限度額を計上しているのですか。火災等の緊急時にこの人員配置で子どもたちを非難させることができますか。近くの児童館等と連携できるようになっていますか。また、産婦人科医との連携はしていますか、希望ですが連携を持っていただきたいと思います。 (回答) その面での職員配置は不足しています。ただし、希望の家は、母子通園をしているので、母親にも一緒に対応していただきます。 産婦人科との連携は、今後対応していきたい。現在、ダウン症のお子さんは八王子小児病院から島田療育センターにつながり、ダウン症のお子さんを持つ集まりに参加できるようになっています。
議題 8	● 採点 (質問) 指定管理が終了する場合があると募集要項などに記載があるのですが、施設がなくなるようなことはあるのでしょうか。 (回答) 利用者がいる状況で施設がなくなることはありません。事業の再編等を実施することはありません。 (回答) ほぼ3カ年は存続すると考えている。行政の果たす役割の変化によって事業団のあり方も変化します。

	※ 次回の予定 10月14日（火）13:00～庁議室 多摩平交流センター、万願寺交流センターのプレゼンテーション ～第4回日野市指定管理者候補者選定委員会終了～
--	--